



豪国の仲間と共に大きな進化 蒲郡中 中川 侑河

「なんでそうなの?」、この繰り返しでした。今までの自分は小さい世界しか見ていなかったという事に気付かされました。僕は野球部で部長を務めています。周りを見る広い視野が必要です。そんな力をつけさせてもらいました。周りを見る、つまり自分を含めて客観的に見る事が大切だという事を学びました。また今回支えてくれた仲間へ感謝しつつこれからも精進していきます。

楽しさと優しさ 大塚中 川村 翔太郎

「帰りたくない」、帰りの飛行機の中は、こんな気持ちであふれていました。出発前は、不安でいっぱいでしたが、ホストファミリーの人たちは、いつも優しく声をかけてくれました。外で遊んだり、食事をしたり、時間を忘れてしまい、5日間があったという間に終わってしまいました。不安にならず、明るく積極的に行動することが、何より大切だということを知ることができました。

柔軟性と積極性 蒲郡中 渡邊 花音

訪問した学校では、全員が個性の塊のようでした。1人1人マイペースなのに、生徒も教師も楽しそうに過ごしていました。相手を受け入れる広い心と自分の意思を主張できる積極性はオーストラリアの人たちの特徴の中で最も尊敬できる部分です。それは今後の生活や将来において大切なことだと思います。このほかにも英語のイントネーションや文化の違いなど、さまざまなことを学ぶことができました。

オーストラリア

中学生による海外派遣事業が、10月18日～26日の8泊9日の日程で行われました。

市内の7中学校14人の生徒がオーストラリアを訪問し、現地の中学生との交流やホームステイを通して、海外の生活、文化、風土に対する理解を深めました。

今号では、参加した生徒の声をご紹介します。

学校教育課 ☎ 66♦1165

世界共通 三谷中 佐藤 秀介

僕が海外派遣で一番心に残っているのはホームステイです。最初はとても不安でしたが、ホストファミリーはとても優しく出迎えてくれました。僕がホームステイ中に心がけたのが「笑顔」です。不思議と自分が笑顔でいると周りも笑顔になりました。ホストファミリーはとても面白く、笑わせでもくれました。笑顔は世界共通なんだと感じました。あっという間の、とても充実した5日間でした。

国境を越えた交流 塩津中 石黒 汐音

出発前は、自分の英語が通じるか心配でした。でもホストファミリーの人たちの笑顔で、不安はなくなりました。言葉がうまく伝わらなくても、理解しようと一生懸命に聴いてくれたおかげです。お互いが伝えたい・聴きたいと思うことで、心が通じているように感じました。1日1日が感動にあふれ、忘れられない思い出になりました。

充実した5日間 三谷中 松本 真奈

私は今回のスタディツアーで5日間のホームステイを経験しました。はじめはちゃんと交流し、生活できるかととても不安でしたが、初日からいろいろなお話をしてもらって、たくさん質問をしてくれて、たくさん交流することができました。2日目からは不安もなくなり、積極的に話しかけ、会話することができました。長いようで短かった5日間、充実した日々を送れました。

温かい気遣い 塩津中 田中 啓太郎

10月18日、ついにこの日がやってきました。不安はありましたが、行ってみるととても楽しくあっという間の9日間でした。オーストラリアではすべてが英語で、ホストファミリーの方が、ゆっくり話したり、辞書を使ったりして言葉を伝えようとしてくれました。言葉が違って心を通わすことができ、良い経験になりました。

